

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第141号



2018年6月26日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



横須賀社保協紹介 by 藤田智恵子幹事

ボーリング大会に14人!

5/30(水)、恒例の、県職労新採歓迎ボーリング大会(横三労連共催)に、新採4名を含む計14名が参加し、大きく盛り上がりました。

今回は合同労組の執行委員会と重なるなど、横三労連の中心メンバーが、皆参加できない状況の中、参加人数が少ないのではと

配しましたが、土建から3名、うわまち病院労組から1名の参加があり、懇親会も8人程の参加がありました。

懇親会では、新採さんも交えて交流がすすみ、組合の枠を超えた交流ができた、感想が寄せられています。

横須賀市社会保障推進協議会(横須賀市社保協)は、横須賀市内の横三労連傘下の労働組合や民主団体で構成されています。国民健康保険や介護保険等は、国の法律に基づき横須賀市が実施主体となって制度を運営しているので、市の裁量権を発揮して、国の制度改悪に対し、住民に影響が及ばない様、保険料等の負担割合の調整や、利用料減免等の拡充等で、所得再分配機能を拡大することも出来ます。そこで、横須賀市社保協では、毎年、参加団体の社会保障要望をまとめて市に提出し、その実現を求めています。しかし、横須賀市は、国の改悪をそのまま市民に押しつけ、市が担うべき社会保障を、市民に「我が事丸ごと」自分達の問題として担うことを求める強制社会づくりを進めようとしています。安倍政権が進める社会保障改悪を阻止するためにも、7月1日の横須賀市社保協総会に参加し、国が狙う「我が事丸ごと」の本質を学びながら一緒に活動していきましょう。

労働学校、成功裏に終了!

6/2(土)、横須賀三浦地域労働学校第3回講義に、12人が集まりました。テーマは、「『働き方改革』は何をもたらすか～8時間働けばふつうに暮らせる社会を～」。

講師は、神奈川県労働事務局長の山田浩文氏でした。ちょうど国会で、「働き方改革」一括法案が論議されている中の講義で、高度プロフェッショナル制度に批判が高まっていたので、講義にも熱が入り、迫力がありました。政府与党は大幅会期延長で、この悪法を通してしまおうとしています。カジノ法案を含め、廃案に追い込むまで頑張りましょう!



社保協の対市交渉